

◆令和7年9月1日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 今日から9月です。議会もありますのでよろしくお願いします。
- 夏祭りが一通り終わった。最近は地域でのお祭りが増えているようで、市民がまちを盛り上げようとしていることをありがたく思っている。我々もそうした活動に協力していきたい。
- 新市街地の整備について担当部署で進めている。様々な課題はあるが、何とか乗り越えて新市街地の開発が実現するよう頑張っていきたい。そのためにはそれぞれの部署の協力も必要ですのでよろしくお願いします。
- 7月7日に日ハムが北海道進出を発表してから、道庁が総合政策部を中心に、農政部、建設部などでサポートチームを作り、日ハム移転をサポートするということで、恵庭市に視察しに来た。ただの状況確認、意見交換ということでしたが、今後そのようなことが進んでいくと思う。どこのまちに来るかはわからないが、恵庭市としては精いっぱい基盤づくりに取り組んでいきたいと考えている。現段階でどのような形になるかわかりませんし、財政的なことも出てくるだろう。それに対する準備をしておかなければならない。今後、皆さんにお願いすることもあるかと思いますが、その際はよろしくお願いします。
- 明日の経済建設常任委員会で公表されるが、ふれらんの事業者が決定した。内容を見ると、サッカー場などスポーツ施設を中心に展開したいという事業者である。事業者との協議内容にもよるが、下水道や道路の整備などすぐ手掛けていくことになると思うので、よろしくお願いします。

2. 議事

(1) 中期財政収支見通しについて 【総務部】

◎資料に基づき、財務室財政課長説明

- 令和7年度は、当初予算をベースに交付税の本算定の結果などを反映して推計した。
- 令和8年度以降は、歳入・歳出予算ともに令和7年度予算をベースに影響の大きな予算では各担当課の推計値を採用したほか、経済成長率や消費者物価上昇率などを用いて推計した。
- 経常収入は、市税収入や譲与税・交付金収入の増を見込み増加、経常支出も、物価上昇や労務単価など物件費の増、扶助費や人件費の増などを見込み、増加していくと推計した。
- 政策的事業充当一般財源は、令和7年度は査定ベースの充当額、令和8年度以降は例年の推計値と同様、投資1億円、経常1億7,500万円としている。令和7年度は、最終的収支をマイナス4億6,800万円、令和8年度以降も同様に、最終的収支はマイナスと推計しており、不足分は、全て財政調整基金繰入れによる財源対策

を行うと想定している。

- 財政運営の基本指針に掲げる指標の予測は、経常収支比率は目標値の93.9%に対し、令和7年度以降の見込みは記載のとおりである。
- 令和8年度の見通しでは、経常収支差額が十分確保できない厳しい状況ではあるが、引き続きまちづくりに必要な事業を確実に実施できるよう、十分な査定のもとで予算編成を行うとともに、引き続き、政策的事業に基金や特定財源を活用するなど、一般財源の負担を軽減しながら、事業推進を図っていきたいと考えているので、ご理解とご協力を願う。

(市長)

決算では財政調整基金を取り崩さずに済んでいるが、予算の段階では財政調整基金を繰り入れて編成している。今後突発的な事業などの影響も出てくるが、財調残高の推移なども確認しながら検討していきたい。

(2) 新市街地整備の検討状況について 【経済部】

◎当日資料に基づき、経済振興室長説明

- 令和7年3月に改定した都市計画マスタープランに記載のとおり、必要に応じて土地利用を検討する区域と位置付けている、西島松地区(主に住宅地・公園)、上山口地区(商業系企業用地)、戸磯地区(工業系企業用地)の現在の検討状況について報告する。
- 関係部署の協力無しでは成し得ないと思いますので、ご協力をよろしくお願いしたい。

(3) 火災被害にあった場合に受けられる各種制度等について 【消防本部】

◎資料に基づき、消防長説明

- 消防では、火災発生時に火災調査を実施し、損害を受けた方に消防への届け出や各種申請手続きについて説明、ご案内をしている。また、他課より依頼のある税の減免や見舞金制度についてもあわせて案内をしている。
- 火災被害にあった方に対し、迅速かつ効果的な支援を行うため、各課で所管している支援制度等があれば情報提供をお願いしたい。なお、すでに周知依頼を受けている3つの制度については、内容に変更が無いか、別途確認させていただく。

【報告期日】9月19日(金)

(市長)

恵み野西で先日起きた火災現場が片付かずそのままになっているが情報はるか。
→現在は不動産会社の所有となっている。不動産会社所有であればあのまま放置はされないだろう。